

目標達成計画

作成日: 平成 29年 4月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	全職員が理念の意義を理解し、共有することが出来る。	理念を知らないスタッフもいましたので、各階のフロアに貼り全職員で共有し理解するようにしました。	6ヶ月
4	3	運営推進会議を活かした取り組み。	現在は町会長さん、地域包括職員、入居者様、事業所側のみで行っているが、家族様にも入って頂き認知症の理解を深め、意見を通してケアの向上に向け取り組んでいきます。	家族様の参加がなかったため、月一回発行する、お知らせに運営推進会議があることを伝え、参加者を呼びかける。	6ヶ月
10	6	家族様とのつながりを多く持つ。	家族様と常にコミュニケーションを図り入居者様の日々の様子をお伝えする。	月一回発行するお知らせに日々の様子を知らせる写真入りのお便りを出す。	6ヶ月
11	7	定期的な全体会議ができていない。	信頼関係を重要し全職員が意見を言いやすい環境をつくる。	全体会議が勤務体制上、持てないので毎月2～3回のフロアごとのケアカンファレンスの機会を利用して開催する。	6ヶ月
40	15	食事を楽しむことが出来る。	検食を兼ねて同じ食卓を囲んで同じものを食べるように努力する。	食事介助をする入居者様が多く、毎日の食事は不可能ですが、月一回の行事食等は食卓を囲んで同じものを食べます。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。